

平成24年7月31日

学校法人溝部学園財務の現状について

23年度の学園の収支は、収入面においては、学生生徒等納付金、補助金収入が前年対比で増加した結果、帰属収入も対前年比で48,253千円増加したものの、退職給与引当金特別繰入額128,280千円等の影響もあり、帰属収支差額は-22,614千円となりました。

1. 「収支目標」(23年度以降)

帰属収支差額の黒字を維持し、帰属収支差額比率について、最低5%以上を目指しております。

2. 「単年度実績」

(平成23年度決算)

帰属収入	1,315,363千円	
消費支出	1,337,977千円	
差額	-22,614千円	(比率-1.72%)

23年度は、重要な会計方針の変更があり、前述のように、退職給与引当金特別繰入額を128,280千円計上しました。

法人	入学定員充足率	64%	収容定員充足率	79%
短大	入学定員充足率	80%	収容定員充足率	90%

3. 「平成24年度の予算見込みについて」

(平成24年度予算)

帰属収入	1,159,311千円	
消費支出	1,132,037千円	
差額	27,274千円	(比率2.4%)

法人	入学定員充足率	63%	収容定員充足率	77%
短大	入学定員充足率	67%	収容定員充足率	74%

法人全体でみると、収容現員は前年対比で28名減少、なかでも短大の収容現員は前年対比で80名減少したこと等の要因により、帰属収入は前年対比で減収見込みとな

り、支出も圧縮に努めたものの帰属収支差額比率は2.4%の予算としている。

4. 経営判断指標（日本私立学校振興共済事業団）による経営状態の区分について

23年度の経営状態の区分については、以下の判定結果よりA2ランクの「正常状態」の範疇となりました。

- ① 教育研究活動のCFは、2年連続黒字の状態である。
- ② 外部負債超過額は、基準である10年以内の範疇に入る。
- ③ 帰属収支差額については、2年連続赤字ではない。
- ④ 黒字幅は10%未満である。

以上4項目の指標における判定結果がA2ランクとなり、7ランク中、上位から2番目（「正常状態」）にあたる区分となっております。